

たかがい恵美子の活動報告

参議院議員 高階恵美子事務所

東京都千代田区永田町2-1-1

参議院議員会館714号室

TEL 03-6550-0714 Fax 03-6551-0714

<http://www.takagai-emiko.net>

命を守る施策を（行政監視委員会で質疑）

私が委員を務めている委員会の一つに行政監視委員会があります。行政監視委員会は、行政監視・評価及び行政に対する苦情に関する事項を所管し、政府の施策等を監視するという重要な役割を担っています。8月3日に開催された行政監視委員会において質疑を行いました。今回私が取り上げたのは、今の日本が「命の危機状態」にあるということ。命が守られていないのです。

【児童虐待の増加】

児童虐待の相談件数は年々増加し、子供たちを救う有効な手立てが講じられていないという国家の危機を関係大臣にしっかりと認識頂き、効果的な施策を講じるよう訴えました。

【自殺者数の増加】

近年の自殺者数は年間3万人を超え、自殺の問題も深刻です。今年は東日本大震災により自殺者数が増加することが予測され、現に6月の自殺者は例年に比較して増加しています。自殺者数増加を見越し、震災発生からの早い段階から、政府に対して対策の必要性を訴えてきました。

しかし、政府は、ようやくここに至って、震災との関係を調査するとの答弁。自殺による経済損失は年間2兆円を超えるとの試算もあります。このことを認識し、対策に必要な予算措置を講ずるよう求めました。

【地域保健に携わる保健師の確保】

地域の保健活動を支える保健師が減少している原因の一つは、公務員の人員削減により、必要な職種までも一律に削減されてしまっていること。自治体により保健師配置数に差が生じており、すなわち、地域により住民サービスに格差があるということです。この格差が何をもたらすのかよく考えていただき、地方行政だからということで自治体任せにするのではなく、国としてしっかり目配りするよう、地方行政を所管する総務大臣に求めました。

【農畜産物の安全確保】

稲わらに由来した牛肉の放射性物質汚染の問題に関連して、稲わらだけでなく、農畜産物の生産に使用される飼料、肥料、水などについても放射性物質の調査を実施し、食の安全確保を図るよう求めました。

自民党女性局「ハッピーオレンジ運動」

自民党女性局では「ハッピーオレンジ運動」と称して、児童虐待防止の活動に取り組んでいます。

8月4日に産前・産後の母親のサポートや地域・社会で虐待を早期発見する環境整備などについて次期選挙公約として提言をとりまとめ、石井みどり女性局長らとともに、鴨下一郎政務調査会長代理に申し入れるとともに、谷垣禎一総裁に報告を行いました。

※自民党女性局 HP に提言の内容及び上記の行政監視委員会における児童虐待に関する質疑に関して掲載されています。

<http://women.jimin.jp/>



第3回日本食品安全政策研究会

私が会長を務めている本研究会は、食品安全の推進を目的として、食品安全に係る政策課題に関して、事業者などの関係者の意見の聴取、行政側への提言を行っています。8月24日に第3回研究会を開催し、消費者庁が今後の義務化を見据えて**栄養成分表示**に関する課題をとりまとめたことから、これについて議論を行いました。栄養成分表示が消費者の健康保持増進に役立つものでなければならない一方、事業者に対し表示に伴う過剰な負担を強いることがないように配慮が必要です。制度の実施にあたっては、栄養と健康に関する消費者の理解の促進と表示のための分析検査やデータベース構築などに係る行政の支援が必要であること、今後の検討を進めるにあたって関係者が意見を述べられる場を設けていただきたいことなどを消費者庁担当官に申し入れました。